

合同研究会の実施レポート

日時：2024年3月16日(土) 14:00 開始

場所：中央学院大学 本館(100周年大学記念館)3階 132 教室

【プログラム】

開会の挨拶 (14:00-14:10)

柴田優子 (日本マンスフィールド協会会長)

報告 (60分、質疑応答含む)

第1報告 (14:10-15:10) 腹部千代子 (聖徳大学兼任講師)

「キャサリン・マンスフィールドの詩を読む」

第2報告 (15:30-16:30) 武田真理子 (東北公益文科大学)

「パンデミック禍におけるニュージーランドの生活支援サービスの一考察
～Heartland Service と Community Connection Service を中心に～」

閉会の挨拶 (16:40-16:50) 山崎弘子 (日本ニュージーランド協会会長)

2024年3月16日に日本ニュージーランド学会・日本ニュージーランド協会・日本マンスフィールド協会の合同研究会が、我孫子市にある中央学院大学で開催されました。NZ学会とNZ協会との研究会は以前からありましたが、マンスフィールド協会を含めた3学協会の合同研究会は2年前に始まりました。ただし、コロナ禍等のために3つの会のメンバーが対面で集まったのは今回が最初でした。参加者は11名で、日本ニュージーランド協会からは山崎会長を含め4名が出席しました。



研究会は午後2時から開始し、柴田優子日本マンスフィールド協会会長の挨拶の後、第1報告：腹部千代子氏(聖徳大学兼任講師、日本マンスフィールド協会会員)、第2報告：武田真理子氏(東北公益文科大学、日本ニュージーランド学会会長)の発表が行われました。

最後に山崎弘子日本ニュージーランド協会会長の閉会の挨拶で終了しました。なお、今回は日本ニュージーランド協会からの報告はありませんでした。

研究会終了後に、「はなぜん我孫子北口駅前店」にて懇親会が9名の参加で行われ、楽しい時間を過ごしました。

日本ニュージーランド学会会長
日本ニュージーランド協会副会長

水野 伸夫